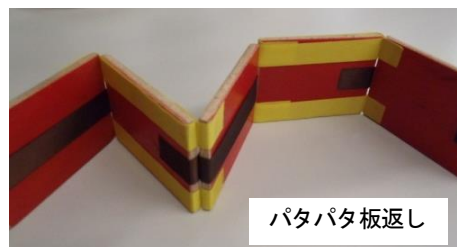




パタパタ板返し工作



パタパタ板返し



ベエゴマ体験

東図書館で開催した
「むかしにタイムスリップ」です。
…詳細は2面目をご覧ください

第201号の主な記事

- 1面 むかしにタイムスリップ・読書生活
- 2面 むかしにタイムスリップ・上河内図書館こども会
スペシャル・子ども賞・予約ベスト10
- 3面 図書館サービスあれこれ・上河内図書館、
河内図書館合同リサイクル市報告・調べ方のツボ
- 4面 としよかんめぐり…第7回 栃木県立図書館



昔の道具



蓄音機

どしどし

第201号
平成27年4月1日
宇都宮市立
中央図書館
東図書館
南図書館
上河内図書館
河内図書館

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

読書生活



雀宮東小学校校長
中村 ひろみ

本と私のよい関係

子どものころ、私は特別な読書家だったわけではありませんが、大学生のころからは、時間があれば本を読むようになりました。大学生協で『太宰治全集』を見つけ、お金をやりくりして手に入れたときの喜びを今も覚えています。

年を重ねて、このころは本が面白くて仕方ありません。小説やノンフィクションの長編を求め、毎日夕食の片づけが終わると読み始めます。読み終わるのがもったいないと思う本に出会うことも多くなりました。私は本当に狭い世界を生きてきました。が、読書によって自分と全く違う生き方や考え方、あるいは自分に重なる部分があることを知り、それらが自分の生き方やものの見方に確かに影響を与えていると感じています。本とのよい関係ができていくのもいいかもしれません。

平成26年度から南図書館のすぐ近くにある雀宮東小学校に勤務し、校長の立場から本の面白さを児童に伝える試みが続いています。まずは私自身が本を面白がるのが大事、と自分勝手な理由をつけ、寄り道をしてはせつせと本を借りている今日このごろです。



土器づくり



県立博物館公式
キャラクター
ミミック土偶の
「みーたん」

3月1日に、東図書館で「むかしにタイムスリップ」を開催しました。2階の集会室には栃木県立博物館より借り受けた昔の道具を数多く展示いたしました。午後からは博物館の職員による昔の暮らしについての講話や、実際に石臼を使って大豆を挽くなどの体験も行いました。

また、ベエゴマ協会のみなさんによるベエゴマの体験・とびやま体験館の職員による土器づくり・宮のものづくり達人の坂井楞山(りようさん)さんによるパタパタ板返し工作などが行われました。

当日は、博物館のキャラクター「みーたん」が登場し撮影会も行われました。一日を通して、来館者には様々な体験をしていただきました。

むかしにタイムスリップ ～昔の暮らしと遊び～



↑小金澤頼子さんによる
「わらべうたであそぼう」

上河内図書館 図書館子ども会スペシャル

2月8日に上河内図書館2階多目的ホールで「図書館子ども会スペシャル」を開催しました。

当日は、平成25年度のお話会ボランティア養成講座修了生が中心となつて、絵本の読み聞かせや素話、手遊びなどを行いました。

親子で37名もの来場者があり、1時間30分の間お話の世界に引き込まれ、聞き入っていました。

手作りストラップやバルーンアートなどのプレゼントがあり、子ども達は嬉しそうに会場を後にしました。



第31回 うつのみやこども賞 が決定しました



平成27年3月1日(日)、午前10時より、第31回うつのみやこども賞の選定会議が行われ、平成26年度うつのみやこども賞は山口理(やまぐち さとし)さんの『ロード』(文研出版)に贈られることに決定しました。

『ロード』山口理/著(文研出版)



たよりないお父さんに冷やかな目を向ける息子と娘の物語。

失業したお父さんが突然買ってきたキャンピングカーで、3人の旅が始まる。途中で起こる様々な出来事を乗り越えて、再び絆を取り戻すことができるか。選定委員からも、「トラブルを乗り越えた家族の姿に感動した」という感想が多くあがった作品です。

選定委員募集

平成27年度(第32回)のうつのみやこども賞選定委員を募集します。

◆活動内容

毎月4冊の本を読み、その中で一番友達にすすめたいと思った作品を選び、うつのみやこども賞を決定します。

◆対象

市内の小学5・6年生。中央図書館で毎月第1日曜日の午前中に行う選定会議に年間を通じて参加できる人。

◆申込

4月2日(木)午前9時30分より直接または電話で中央図書館☎(636)0231まで

順位	タイトル	著者名	出版社
1	サラバ! 上	西加奈子	小学館
2	サラバ! 下	西加奈子	小学館
3	虚ろな十字架	東野圭吾	光文社
4	悲嘆の門 上	宮部みゆき	毎日新聞社
5	フランス人は10着しか服を持たない	L. スコット	大和書房
6	村上海賊の娘 上巻	和田竜	新潮社
7	悲嘆の門 下	宮部みゆき	毎日新聞社
8	村上海賊の娘 下巻	和田竜	新潮社
9	絶唱	湊かなえ	新潮社
10	満願	米澤穂信	新潮社

予約 ベスト10



平成27年3月20日現在



特集コーナーの様子

スペース横に「家庭生活支援コーナー」をつくり、子育て、教育、家庭、健康など家庭生活に役立つ情報を一か所にまとめています。

コーナーには図書資料のほか、関連する雑誌、関係機関等から収集したパンフレット等も置いてあります。

また、定期的に様々なテーマで、生活に関する「特集コーナー」を設置し、関連する資料の提供や講演会の他、専門機関と連携した講座も開催しています。

図書館サービスあれこれ

このコーナーでは、図書館の特色あるサービスを紹介していきます。

～南図書館～

「家庭生活支援」編

南図書館では、子どもや親子連れの方へのサービスを特色とし、児童

「家庭生活支援コーナー」は次の

4つのテーマから成り立っています。

◇子育て 全分野の

中から、子育てに役立つ様々な資料を集めました。

妊娠・出産や子どもの病気、お弁当の本、通園バッグの作り方、親子で出かける旅行ガイド等もこちらのコーナーにあります。

◇教育 幼児教育・学校教育をはじめ、家庭教育やしつけについての本、教育に関わる人のための本もあります。

また、定期的に様々なテーマで、生活に関する「特集コーナー」を設置し、関連する資料の提供や講演会の他、専門機関と連携した講座も開催しています。

◇健康・医療 病気や介護関係等の本を集めました。

また、定期的に様々なテーマで、生活に関する「特集コーナー」を設置し、関連する資料の提供や講演会の他、専門機関と連携した講座も開催しています。

リサイクル市を開催しました

～上河内・河内図書館

平成27年3月13日・14日の2日間にわたって、上河内・河内図書館のリサイクル市を開催しました。結果は表のとおりです。

ご協力いただき、ありがとうございました。



購入者数(人)	222人
販売冊数(冊)	1,107冊
販売金額(円)	84,200円



コーナー入口付近

調べ方のツボ

実際に図書館で質問を受けた事例を紹介するコーナーです。

ファイル

宮染めの歴史や、こういうものを作っているのか知りたい。



調べ方

宮染めは、宇都宮の伝統ある染物であるため、地元の産業に関連すると考え、宇都宮市史を調べた。『宇都宮市史8 近・現代編II』の「町工場の成立と地場産業」(p9)に、宮染めが地場産業で発展してきた経緯が詳細に書かれていた。『下野の地場産業』(p64～65)では、染色技法等も書かれている。

また、宮染めは宇都宮の名産品でもあるので、名産品に関する資料も調べた。『事典*日本の地域ブランド・名産品』の栃木県の項目(p84)に「宮染め」という項目を確認することができた。

回答

宮染めの起源は、江戸時代に真岡地方で盛んに生産された木綿地を染めるため、染色職人が田川沿いに移り住んだのが始まりといわれている。注染(ちゅうせん)・浸染(ひたしぞめ)などの技法で浴衣・手ぬぐい・暖簾などを作っている。

この他東図書館では、図書以外にも宮染めに関するスクラップ記事や、手ぬぐいも収集しているので、実物も紹介した。

【参考文献】

『宇都宮市史8 近・現代編II』(宇都宮市)
『下野の地場産業』(小林博彦・著 栃木県連合教育会)
『事典*日本の地域ブランド・名産品』(日外アソシエーツ)

東図書館作成

としょかんめぐり

第7回 栃木県立図書館

県庁の東側、ゆるやかな坂の上に県立図書館があります。

明治43年に起源となる二宮文庫が開設され、昭和21年に県立図書館として開館、現在の地に移ったのが昭和46年。平成24年12月には、約1年間に及ぶ改修工事が終了しました。また平成23年から、隣接の県庁地下駐車場を2時間無料で利用できるようなり、より利用しやすくなっています。

県内公共図書館にとつては「頼りになる」図書館。どのような特徴や取り組みがあるのか、今回は司書の鈴木生さんにお話を伺いました。



外観



↑充実の課題
解決コーナー



リニューアル
した地域資料室→

■蔵書の構成

蔵書は約70万6千点。「とちぎのことなら何でもわかる図書館」を目指しており、地域資料の収集に力を入れています。その数約8万点。新設された際、直接手に取って見ていただける資料数を大幅に増やしたとのこと。

また専門的・学術的な資料を多く収集しているのも県立図書館の特徴です。課題解決コーナーとして福祉や法律分野の情報提供にも力を入れており、県民生活の力強い味方といえます。

その他、特別コレクションも数多くあり、「滝澤宏郎レコードコレクション」など貴重な資料にもお目にかかれます。

DATA

栃木県立図書館

■所在地 〒320-0027

宇都宮市塙田1-3-23

■連絡先 028-622-5111

■休館日 月・第4木・年末年始

■開館時間

一般閲覧貸出・学習室

9:00~19:00 (平日)

9:00~17:00 (土日祝)

視聴覚室・読書活動支援室他

9:00~17:00 (平日・土日祝とも)

■ホームページ

<http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp>



↑小川館長(左)と鈴木さん

「県立図書館は普段なじみのない方もいるかもしれませんが、お近くの公共図書館と合わせて、どんどん利用していただきたいです。公共図書館を窓口で資料を受け取ることができませんよ。」

■利用するには
栃木県内に在住、あるいは通勤・通学していれば利用券を作成することが出来ます。その際は氏名・住所を確認できるもの(免許証や保険証など)を提示してください。資料は視聴覚資料を含めて10点、14日間借りることができます。

館報としょかん 第201号 編集発行

ホームページ <http://www.lib-utsunomiya.jp/>

(編集発行)

中央図書館	明保野町7番57号	〒320-0845	TEL028-636-0231
東図書館	中今泉3丁目5番1号	〒321-0968	TEL028-638-5614
南図書館	雀宮町56番地1	〒321-0121	TEL028-653-7609
上河内図書館	中里町182番地1	〒321-0414	TEL028-674-1123
河内図書館	中岡本町3397番地	〒329-1105	TEL028-673-6782



◆編集後記

新企画「図書館サービスあれこれ」。各図書館の特色あるサービスを知り、充実した図書館ライフを送っていただければと思います。桜舞う季節、花を愛でながら本のページを開いてみては、いかがでしょうか。(東)